

令和6年度 第4回 若葉区民対話会
(白井・更科地区町内自治会連絡協議会)

令和6年12月14日(土)

〈次第〉

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 意見交換会

(1)「スクラップヤードの現地視察」について

10/5にスクラップヤードの現場を行政・地域の方と視察を行った。問題を解決するためには地域だけでなく、皆が一体となって連携し協力することが大切である。今後のスクラップヤードの課題は、火事の問題であると考えている。

(2)「北谷津新清掃工場の周辺整備と地域活性化」について

北谷津新清掃工場周辺の活性化については、前々より、市長に提案書を提出し、温水プール、オートキャンプ場、子供たちの広場等、三世代が住みやすい町なるように訴えている。煙突が地域のランドマークと言われるようになればうれしい。そのような地域を作るためにも、市と地域の方が一体となって地域を盛り上げたい。

参加者) 泉自然公園のバーベキュー場やアスレチック場の活用はどうなっているか。

区長) 民間の事業者が行っており、利用者も一定数来ていると認識している。

参加者) 活用されている気配がない。新清掃工場でのオートキャンプ場のように同じようなものが2つあっても意味がない。

参加者) 御成街道やお茶屋御殿の地域資源を活用できていない。歴史的な場所にスクラップヤードがあることから、見栄えも悪くなっている。スクラップヤードが多い理由も農家が減っているのが原因。何か対策を考えて欲しい。

(3) あんしんケアセンターの利用について

大宮台のあんしんケアセンターは、駐車場(1台のみ)であり、バスも通らずアクセスが悪い。泉市民センターを出張所にするなどして、改善に努めてほしい旨を千葉市に要望しているところである。

区長) 泉市民センターを利用することについては、前向きな回答を検討している。

（４）その他、質問等

参加者）農家が農業だけで生活することが困難な状況になっており、農地放棄が増えている。スクラップヤードが増えたのもそれが一つの要因と考えている。

また、農地法の改正により非農家が農地を購入できることになったことから、農地を購入できてしまう状況に危惧している。その対応策として、環境省の事業である「自然共生サイト」に登録を行い、土地の売買、利用を現状維持とする対策を行っている。

農業の未来を行政が守ってほしい。

区長）説明ありがとうございます。現状については、把握した。

参加者）猪が増えており、農家にとって死活問題。農政センターにも相談しているが、他人事のように思える。

区長）現状は、承知した。農政センターに一度連絡を取ってみる。猪は大きすぎて清掃工場での処分が難しいのが問題となっている。

参加者）言ってもらえれば、埋める場所の協力はできる。

区長）ご協力ありがとうございます。

参加者）都川から泉自然公園でサイクリングでも実施してはどうか。鹿島川を良いのでは。

区長）ご意見ありがとうございます。より魅力的な若葉区になるよう、考えていこうと思います。

４ 閉会